



# 下郷中だより

## ◇下郷中学校教育目標◇ 「知性」「品格」「健康」

「目標達成にむけてやり抜く力」と  
「人を思いやる心と行動」  
No. 2 令和2年 5月13日(水)  
文責 下郷中学校長 小林 稔

## 「緊急事態宣言」の中で…

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、全国に「緊急事態宣言」が発出され、全国の学校が「臨時休業」の措置となりました。年度末の臨時休業での混乱は、入試、卒業式、修了式、離任式などをどのようにしていくかが大きな問題でした。今回の休業は、東京や大阪などの大都市圏で、入学式もしていない状況があり、学習状況をいかにしていくかが大きな問題となっています。幸い下郷中学校は、入学式も無事終わり、2週間ほど授業を行うことができたので、学習プリントや学習の方法などを伝えることができたことや、下郷町で導入していたeライブラリの整備を一気に進め、IDやパスワードなども配付することができたため、大きな混乱につながらなかったと思います。(eライブラリに関しては、家庭でのPC環境等の問題はありますか…。)

一方で、新聞やTV等で、全国中体連、東北中体連、福島県中体連の各大会が中止になるという報道が流れました。先生方も高等学校体育連盟(高体連)主催のインターハイ中止の報道が前後していたので、一縷の期待をもって見守っていましたが、決定後は大きなため息が職員室に流れました。3年生の皆さんとの冬の間の頑張りを目の当たりにしてきたので、みなさんの顔が頭に浮かびました。多くの関係者が何とか開催する方法は無いか考え抜いた結果、皆さんをはじめ家族などの「命を守る」ためには、開催を諦めるしかないという苦渋の決断にたどり着いたと聞いています。

下中でも、校内行事やPTA活動を中止したり、それに伴う要項の紙上決議など、恐らく過去に実施したことのない方法を考えながら、命を守ることを最優先にして、この「緊急事態」を乗り切ろうとしています。

「緊急事態宣言」は継続され、多くの中学生が登校できない状態が続いている。他県では学校でもクラスターが発生したとの報道もありますから、気を抜けばわが下中も同じことが起こらないとは限りません。登校日には、下中生全員で「3密」を作らない、換気、手洗い、消毒を今まで以上に意識して行うなど、感染防止のための取り組みを継続し、一日も早い再開になるようしましょう。



### の行事予定

いろいろ行事や大会が中止や延期に変更になっています。

1		11	PTA常任委員会(中止)	21	
2		12		22	職員会議 桜内陸上大会(中止)
3	憲法記念日	13	登校日 全会津陸上大会(中止)	23	PTA親子奉仕作業(中止)
4	みどりの日	14	↓	24	
5	こどもの日	15	PT連総会(中止)	25	全校朝会(放送)
6	振替休日	16		26	郡中体連総合プロ編(中止)
7	臨時休業(31日まで)	17		27	登校日
8		18	第1回生徒会総会(放送へ変更)	28	
9		19	生徒会専門委員会	29	英検(延期)
10	↓母の日	20	↓登校日	30	
※臨時休業が延長されました。水曜日が登校日になります。昼食はいりません。					31 ↓

朝は通常通りのバス、帰りは12:00の臨時バスになります

学校での活動の様子を随時ホームページでお知らせしています。是非ご覧下さい。

下郷町教育ポータルから検索 [https://shimogo.fcs.ed.jp/下郷中学校](https://shimogo.fcs.ed.jp/)

裏面もご覧ください

# 校長室の窓

## 令2 No.2 「心カメラ」

教職に就いた時の学年主任がカメラ好きで、「どうせ持つなら一眼レフだな」と言われ、薄給なのに「ミノルタ」製の中古の一眼レフを購入できるよう手配していただき購入した（名前がミノルだからかな…）。

今と違ってデジタルカメラではないので、フィルムを装填して撮影する。ちゃんと写っているかどうかは現像してみないとわからない。主任が写す写真は、生徒の表情や活動の様子をバッチリ捕らえているのに、自分の写真は、ピンボケだらけ…。いつかは主任が驚く写真を撮りたいものだとと当時はひそかに思っていましたが、主任には『「写るんです」のほうが良かったんじゃない? カメラが泣くぞ。』と言われる始末…。

時は流れ、デジタルカメラの時代になり、望遠レンズでないと捕らえられなかった被写体でも、速い動きのスポーツシーンの被写体でも、誕生パーティの蝋燭だけの暗い室内の被写体でも、ズームは内蔵されていましたり、難なくピントばっちりの写真が撮影できる。撮影したその場で画像を確認し、気に入らなければ削除して撮り直しもできる。価格も数万円出せばかなり高性能のものを購入できる。素晴らしい時代になったものである。（35年前に買ったミノルタの一眼レフを最近ハードオフで査定してもらったら、ほかの雑貨と合わせて2000円と言われました…。もちろん買い取ってもらいましたが…。）

さて、「心カメラ」というものがある、自分の心の中を写したら、どんなものが撮れるだろうか。「ああ、きれいな心だ」と思えるならば一番良いのだろうが、とかくあれやこれや、気に入らないこと、不満に思うことが少なくない毎日である。だから写真には、疑いや不平、憎しみや怒りなど、自分でも見たたくない暗くて鬱陶しいやんだ心が映し出されるかもしれない。

思いやりの心、いたわりの心、寛容の心、人を愛する心など、心の写真をきれいにする要素はたくさんあるだろうが、その基本となるのは、やはり「感謝の心」であろう。また、何かとせちがらくストレスも多い世の中ではあるが、その心をもつべき対象は結構あるのではないかだろうか。

私たちは空気がないと生きていけない、水またしかり、太陽もしかり。自然ばかりでない。親や兄弟、友人など、周囲の人やモノのおかげをどれだけ受けていることか。感謝の心に気付いて、「ああ、ありがたい」と思えるかどうか。わが心の写真の写りを良くし、健康な心に取り戻すカギの一つは、そんなところにあるのではないかと思う。



下郷中学校では学校での活動の様子を随時ホームページでお知らせしています。是非ご覧下さい。

下郷町教育ポータルから検索 <https://shimogo.fcs.ed.jp/> 下郷中学校